

会 議 名	平成26年度第1回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成26年5月14日（水）午前10時から12時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	（出席者）崎田座長、森委員、中里委員、木原委員、櫻林委員、梶中委員、小林委員、岩政委員、小沼委員、佐々木委員、奥野委員、長谷川委員 （欠席者）藤野委員、島村委員、荒川委員
事 務 局	日山、高島、杉山
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 楽しく暮らしに役立つイベントいっぱい！遊ぶ・見る・考える「みんなと3Rフォーラム」開催報告 2. 意見交換① エコライフ・フェアMINATO2014出展について 3. 意見交換② 平成26年度3R推進事業の進め方について 4. 意見交換③ 段ボールコンポスト講習会（案）について 5. その他
配 付 資 料	[事前配付] なし [席上配付] 1. 「港区3R推進行動会議」設置要領 2. 平成26年度港区3R推進行動会議委員名簿 3. 楽しく暮らしに役立つイベントいっぱい！遊ぶ・見る・考える「みんなと3Rフォーラム」開催報告 4. 「エコライフ・フェアMINATO2014」出展概要 5. 平成26年度港区3R推進事業の進め方について（案） 6. 段ボールコンポスト講習会（案） [参考資料] 1. 「みんなと3Rレポート その6」パンフレット 2. エコライフ・フェアMINATO2014全体チラシ 3. 古着・廃食用油・使用済み小型家電製品の回収チラシ 4. 港区の清掃とリサイクル2014 5. 港区3R推進行動計画 6. 「みんなと3Rサポーター」募集チラシ

主な発言・報告内容

1 港区挨拶

本年度、第一回目の3R推進行動会議となる。昨年度は皆様のお知恵をお借りし、一昨年度よりも事業内容の充実を図ることができたと実感している。本年度は更に事業が充実するよう、皆様にご協力をいただきたい。現在、国で進めている容器包装リサイクル法の改正に向けて、環境省より自治体の生の声を聞きたいとの連絡があった。23区内では、港区と練馬区が選定された。港区は、プラスチックリサイクルの先進的な取り組みが評価され選定されたようだ。また、モンゴルのウランバートルから依頼があり、東京都の環境局の担当者と共に現地へ赴き講演やワークショップを行う予定である。このような場で、港区の考えやリサイクルの情報を積極的に発信していきたい。

2 楽しく暮らしに役立つイベントいっぱい！遊ぶ・見る・考える「みんなと3Rフォーラム」開催報告

●事務局からの報告

平成26年3月20日（木）から23日（日）までエコプラザにて「みんなと3Rフォーラム」を開催した。パネル展示会に加え、21日には学生ボランティアらによる子供向けイベント（3Rレンジャーショー&クイズ対決、ワークショップ、クイズラリー&抽選会）を、22日には小さな家具のリサイクル展、段ボールコンポスト&キッチン菜園講座、TBSアナウンサー秋沢淳子氏による3R記念講演を開催した。

●主な発言

- ・ 3R推進行動会議の委員や、区内の様々な団体を巻き込んでイベントができると良い。
- ・ エコプラザと一層連携を取り、区民や事業者により広がるような方法を考えて欲しい。

3 意見交換① エコライフ・フェアMINATO2014出展について

●事務局からの説明

平成26年5月24日（土）に港区立有栖川宮記念公園にてエコライフ・フェアMINATO2014が開催される。古着・ふとん・廃食用油を回収し、パネル展示やクイズ等で港区3R推進行動会議の活動紹介を行う。また、みなとリサイクル清掃事務所のブースでは使用済み小型家電製品を回収する。委員の方には当日のご協力をお願いしたい。

●主な発言

- ・ 3R推進行動会議では、古着を回収し発展途上国に輸出しリユースしている。他方、麻布清掃協会の場合は、リサイクルバザーを開き古着を売却しているが、売上金は港区社会福祉協議会に寄付している。バザーに来られるお客様に「一方では古着を回収し、一方ではバザーで販売しているのは何故か」と質問を受けることが多いので、古着回

収後の流れの説明パネル等はブースの奥の方ではなく目に付くところに展示して欲しい。

4 意見交換② 平成26年度3R推進事業の進め方について

●事務局からの説明

今年度の3R推進事業では講師・アドバイザー等、3R普及啓発の「担い手育成」をテーマに3R推進事業を進めていく。短期的な取り組みとしては意識の高い3Rサポーターの獲得を、中長期的な取り組みとしては3Rサポーターから「講師・アドバイザー」の育成を目指す。3Rサポーターの獲得手法としては、環境意識の高い企業の担当者へのアプローチと段ボールコンポスト講習会参加者に対して呼びかけを行う。また、過去段ボールコンポスト講習会の参加者についても、段ボールコンポストを継続しているか等の把握ができていなかったため、取り組みの現状を把握し、講師・アドバイザーと成り得る人材を発掘する。また、講師等育成プログラムの計画作成、SNS（ソーシャル・ネットワーク・システム）活用による定期的な情報発信、大学祭でのリユース食器導入プロジェクトを通じて、3Rサポーターから「講師・アドバイザー」への育成を行う。

●主な発言

- ・ 港区は、ごみ減量のために色々な取り組みを頑張っている人が点で多くいるので、その点と点を結べるように工夫してもらいたい。
- ・ 結果を残すということが大切なので、手を広げ過ぎずにできるところからやっていきたい。
- ・ 分かりやすい啓発が大切である。以前手作りのポスターを使った啓発を行い、好評だった。エコライフ・フェア等でもやってみたい。
- ・ ごみ減量の普及啓発は段ボールコンポストだけでは入口が狭いのではないか。もっと幅広い年代の方に興味を持ってもらいたい。
- ・ 社員へのアプローチの場合、区の取り組みに協力してもらえるかは個人のボランティア精神によるところが大きい。会社として人件費をかけて取り組むことは難しいのではないか。
- ・ 事業者の担い手育成と個人の担い手育成を同じものと考えると少し違和感がある。事業者としての取り組みを継続的に発信してもらえるサポーターという認識でよいのではないか。関心の高い企業を把握するだけでも違うのではないか。
- ・ 企業のCSR担当者からもCSRの取り組み効果の発表を疑問視する声がある。スーパーマーケットで段ボールコンポストのような企画は店舗にチラシを掲示すると集客できると思う。
- ・ スーパーマーケットで講習会を行っても面白いのではないか。企業のCSRの機会や報告する場を提供できることになる。

- ・ 地域にPRすることが必要だと感じた。また、大学に限らず地元の祭り等の催しの際にもリユース食器を使ってもらいたい。
- ・ 3Rサポーターの活躍の場が少ない。

5 意見交換③ 段ボールコンポスト講習会（案）について

●事務局からの説明

7月12日（土）、7月26日（土）に段ボールコンポスト講習会を、9月20日（土）に段ボールコンポスト報告会を予定している。昨年度は親子向けの対象を小学生としていたが、7月12日（土）は小学生に加え、中学生の親子も対象とする。

●主な発言

- ・ 人が集まるスーパーマーケット等に出前講座を行うことで、企業と連携することができる。
- ・ スーパーマーケット等では、出前講座を開催できるスペースの確保が難しいことが想定されるが、チラシを掲示することはできると思う。暮らしの中でPRできる場所を増やすことも重要である。
- ・ 3Rサポーターには、それぞれの立場にあった工夫をすることで取り組みを広げたい。企業の担当者にアプローチする場合は、個人という立場で協力していただくことは難しい可能性があるが、企業の担当者という立場で、協力をお願いすることはできる。
- ・ 3Rや環境に関する取り組みは、多くの方を巻き込むことが大切である。中小企業等の方がメリットを感じる工夫や、社内で簡単に説明できるように単純化するなど、柔軟性が必要である。
- ・ なぜ段ボールコンポストで作った堆肥が道路の植樹帯や学校の花壇等に使えないのか、課題を整理してみてもどうか。
- ・ 使いきれない堆肥を利用していただけの企業の方がいる可能性もある。
- ・ 家庭で作った段ボールコンポストの堆肥は、品質の担保が難しい。また、何か問題があった際に賠償等の問題がある。学校給食で排出する生ごみは、行政の責任で品質が担保できるため、農家で使っている。

6 その他

●次回企画会議

6月17日（火）午前10時から12時

●エコライフ・フェアにご協力いただける委員の皆様

10時から正午は小林委員と梶中委員に、正午から14時は木原委員と森委員にご協力をいただく。